

### 指定管理者評価シート

#### 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市郡山老人福祉センター	
2 指定管理者	社会福祉法人 仙台市社会福祉協議会	
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和5年度 14,486人(前年度比 104.7%) 令和4年度 13,835人 令和3年度 11,328人	
	《事業》 市内に住所を有する60歳以上の高齢者に対し、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。	
5 収支の状況	《費用》 ( )は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 46,640千円 (46,640千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 令和6年2月～3月に利用者アンケートを実施した。また、運営委員会、センター独自アンケート、意見箱の設置等を実施した。	

#### 二 管理運営に係る評価 (モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	老人福祉センターの設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解している。 また、利用者の健康づくりや、公平・公正な利用、高齢者の特性を理解したうえでの心身への配慮に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。	33/33
II 施設の運営管理体制	必要数の職員が配置されており、職員間では円滑な連携が図られ、適切に運営されている。経理書類も適正に作成されている。 また、個人情報の漏洩や滅失を防止するため、管理責任者を定め職員への周知等の意識啓発を行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。 事故や災害の発生に備え、対応マニュアルの策定、連絡体制の構築、併設の児童館やコミュニティ・センターとの合同防災訓練等の取り組みを行っている。	24/24
III 施設・設備の維持管理	利用者の安全・安心・快適な利用を維持するため、施設内外の清掃を適切に行い、事故防止のための館内巡回も行われている。 また、節電やごみ発生の抑制、グリーン購入を実施するなど、環境に配慮した施設運営を行っている。	24/24
IV サービスの質の向上	利用者が気持ちよく利用できるよう、丁寧な応対と分かりやすい説明を心がけている。また、毎月のセンターだより発行など、利用者への情報提供や施設のPRも積極的に行っている。 さらに、利用者の意見や苦情に対し、その対応手順や担当者を明確にするとともに、市が実施する利用者アンケート、管理運営委員会における意見交換等により利用者のニーズを把握するなど、利用者の意見を反映した施設運営に意欲的に取り組んでいる。	28/28
V 施設固有の基準	高齢者が自ら学んだことを発表する機会の設定を積極的に行なっており、利用者の主体的な企画実施に対する支援も行っている。 また、利用者の代表者や地域で構成する委員会を開催し、利用者が施設運営に関わる仕組みづくりを推進しており、利用者意見を取り入れた企画の立案を行っている。	9/9

### 三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人 仙台市社会福祉協議会）による自己評価》
<p>新型コロナウイルス感染症対策を継続して、入浴の制限、各種教室・愛好会の人数・回数制限等、利用者のご理解・ご協力を得ながら運営。運営については、センター利用者代表で構成された運営委員会を開催して意見を募りながら協議を重ね、感染症対策を中心に安全に利用できる施設の環境作りに努めた。</p> <p>愛好会や個人利用が令和4年度より再開しており、センターとしての活気が戻り、利用者数も徐々に増やすことが出来た。</p> <p>徐々に地域の関連機関との共催事業が再開しており、令和4年に続き、八本松市民センターまつり「うぶすなまつり」へ「リフレッシュ体操」での参加、児童館まつりでは「昔遊びブース」を担うことで参加。</p> <p>複合施設の強みを生かし、地域に還元する取り組みとして、デイサービスセンター、地域包括支援センター、ケアプランセンターと合同の「介護・健康のつどい」を2回開催した。</p> <p>地域のシニア男性対象に地域地域包括支援センターとの共催で新規にシニア男性の畑づくり講座「あぐり郡山」を年14回開催した。野菜づくりをしながら、シニア男性の地域でのつながりをつくり、社会参加、地域貢献活動へつなぐ場を提供することができた。</p> <p>「生活支援通所型サービス(総合事業・基準緩和型)」では、老人福祉センターと併設デイサービスセンターの一体的な事業運営の取り組みを強化し、自事業地域包括支援センターや他事業地域包括支援センターからの体験利用者を積極的に受け入れし、新規利用者獲得を目指した。</p> <p>太白区ボランティアセンターと連携した「ボランティア交流会」を継続して開催し、コロナ渦での各ボランティアの活動状況や今後の展開の検討を行った。また、太白区ボランティアセンターより区内のボランティア活動状況、「こども食堂」の活動状況について話題提供を頂き、情報共有を図ることが出来た。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和5年度の管理運営について、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。</p> <p>感染症対策では、新型コロナウイルス感染症が5類に移行した後も、感染症対策を継続して、入浴の制限、各種教室・愛好会の人数・回数制限等、利用者の理解を得ながら運営したほか、運営委員会を開催して意見を募りながら協議を重ね、安心して利用していただけるよう取り組んでいることから、リスク管理が適切になされている。</p> <p>八本松市民センターまつり「うぶすなまつり」へ「リフレッシュ体操」での参加、児童館まつりでは「昔遊びブース」を担うことで参加するなど、地域の関連機関との連携強化にも努めている。</p> <p>地域のシニア男性対象に地域地域包括支援センターとの共催で新たにシニア男性の畑づくり講座を開催し、シニア男性の地域でのつながりをつくり、社会参加、地域貢献活動へつなぐ取り組みを行っている。また、区のボランティア活動センターと交流会を開催するなどボランティアの現状や活動について情報収集も行っている点も評価できる。</p> <p>体験利用者を積極的に受け入れし、新規利用者獲得にも力を入れている。</p> <p>以上のことから、総合的に高く評価できる。</p>	S

### 四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):健康福祉局保険高齢部高齢企画課